

ゆに 議会だより

【第3回定例会】 町政を問う 一般質問

- 加藤重夫 子供の肥満と生活習慣について
- 佐藤英司 小中一貫教育のさらなる推進について
- 野市裕司 海外との交流について
- 東 貴之 水道事業について
- 中村隆浩 農作物の鳥獣被害に関わる現状と今後の対策について
- 浮田孝雄 地方自治体の有りよう

令和5年度一般会計・特別会計を決算審査特別委員会で審査



由栗いも大収穫！

令和6年 第3回定例会

令和6年第3回定例会は9月10日に召集され、会期を18日までの9日間として開会しました。

諸般の報告（令和5年度由仁町健全化判断比率、資金不足比率など）の後、行政報告、教育行政報告が行われ、一般質問は6名の議員が計6件の質問を行いました。

付議事件は、条例の新規制定1件、条例の一部改正3件、計画の一部変更1件、令和6年度各会計補正予算案5件、広域連合規約の変更1件、人事案2件、選挙1件、会議案2件、意見書案3件を慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

	付議事件	主な内容
条例の新規制定	由仁町自家用有償旅客運送自動車の運行に関する条例の制定について	10月から実施する道路運送法第78条第2号の規定により運行するデマンドバス及びデマンドタクシーの運行に関し、利用料など必要な事項を定める条例を制定
条例の一部改正	由仁町税条例の一部を改正する条例の制定について	公益信託制度の見直しに伴う所得税法の改正に伴い、条例の一部を改正
	由仁町公園条例の一部を改正する条例の制定について	施設の老朽化及び処分制限期間の経過により「伏見台テニスコート」の用途を廃止するため、条例の一部を改正
	由仁町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	マイナンバーカードと健康保険証の一体化により、現行の被保険者証が廃止されることに伴い、条例の一部を改正
計画の一部変更	由仁町過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更について	健康元気づくり館への冷暖房設備設置に財源として過疎対策事業債を使用するため、計画を一部変更

	付議事件	主な内容
広域連合規約の変更	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について	マイナンバーカードと健康保険証の一体化により、現行の被保険者証が廃止されることに伴い、広域連合規約の一部を変更
人事案	公平委員会委員の選任について	大坂直人氏（中央）を選任（再任）することに同意
	教育委員会委員の任命について	河端直美氏（本三川）を任命することに同意
選挙	選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について	任期満了に伴い、選考委員会による指名推薦で選挙を行い、委員4名、補充員4名を選出 ○選挙管理委員会委員 ・滝口正男氏（東栄・再任） ・谷口和美氏（東栄・再任） ・山根博樹氏（川端・再任） ・高橋俊之氏（三川錦町・新任） ○選挙管理委員会委員の補充員 ・第1順位 作田茂与氏（岩内・再任） ・第2順位 野島浩史氏（新光・再任） ・第3順位 吉田真由美氏（西三川・新任） ・第4順位 安達智氏（中央・新任）
会議案	議員派遣について	由仁町議会道外行政視察
	議会改革推進特別委員会の設置について	議会の活性化に向けた議会改革を推進するため、特別委員会を設置
意見書	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、30人以下学級など教育予算確保・拡充の実現に向けた意見書について	左記の意見書を採択し、衆参両議院及び関係省庁等に提出
	改正食料・農業・農村基本法の実効性確保等に関する意見書について	
	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について	

令和6年度補正予算を可決

令和6年度各会計補正予算は、原案のとおり可決しました。

(単位：千円)

会 計 名		補正前の額	補正額	補正後の額
		主な内容		
一 般 会 計		5, 3 4 7, 5 3 2	1 3 5, 4 5 6	5, 4 8 2, 9 8 8
		由仁町物価高騰等支援給付金の追加 新型コロナワクチン定期接種事業費の追加 令和5年度事業に係る返還金の追加		
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 会 計	8 8 6, 7 2 8	5 1 0	8 8 7, 2 3 8
		令和5年度の特別交付金に係る返還金の追加		
	介 護 保 険 会 計	7 9 3, 2 0 6	5 4, 2 3 1	8 4 7, 4 3 7
		介護報酬改定に伴うシステム改修費の追加 令和5年度の介護給付費、地域支援事業に係る返還金の追加		
	診 療 所 会 計	5 9 5, 3 8 4	2, 1 8 7	5 9 7, 5 7 1
		電子カルテシステム改修費の追加 エアコン等購入に係る費用の追加		
	介護老人保健施設会計	1 3 8, 3 5 0	△1 0, 0 5 7	1 2 8, 2 9 3
		診療所への施設管理負担金の減額		

研修会に参加しました

8月20日札幌市で北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が開催され、議員3名が参加しました。



令和6年 第3回定例会

一般
質問

町

政

を

問

う



加藤議員

子供の肥満と生活習慣について

Q 由仁町の子供の肥満の現状と子供の肥満の原因、危険性について伺う

A 成人になる前の解消が大変重要であり、健康的な生活習慣の定着に取り組んでいく

加藤議員

新型コロナウイルス対策における行動制限によって子供たちの体格に影響を及ぼしているのではないかと心配しています。子供の肥満は将来的な健康に深刻な問題に発展する可能性もあり、早期の対応が必要と考えます。由仁町の子供の肥満の現状、子供の肥満の原因と生活習慣病の危険性について伺います。

町長

子供の肥満は成人の肥満に移行しやすく、生活習慣病の大きなリスクとなるため、適正な指導を行い、成人になる前の解消が大変重要です。

当町の現状として、新型コロナウイルス流行前との比較で肥満の割合が増加傾向にあり、その原因は生活習慣や食生活の乱れも大きな要因であることから、その対策として、広報による情報提供と各種健診や健康教育の機会を活用し、肥満の危険性や生活習慣の重要性について周知を行うとともに教育委員会、学校と連携し、保護者の皆さんに子供の健康的な生活習慣の定着に向けて取り組んでいきます。

教育長

令和6年の身体測定では小学校で太っているとされる児童が37人、その中で太り過ぎに該当する児童が16人います。中学生は肥満Ⅰ度以上が13人、その中で肥満Ⅱ度の生徒が7人いました。

再質問

Q 生活習慣の定着を目指してどのような取組を行っているのか

A 保健師による個別の保健指導、栄養教諭による授業展開などを実施

加藤議員

由仁っ子健診で生活習慣病と診断された生徒の有無と健診判定で治療や精密検査、再検査の判定があった

生徒に対するフォローはどう対応しているのか、また、小中学校での身体測定で肥満と判断された子供への個別対応と正しい生活習慣の定着を目指し、どのような取組を行っているのか伺います。

保健福祉課長

由仁っ子健診で生活習慣病と診断された生徒はいませんが、将来生活習慣病への移行が心配される生徒は相当数確認しており、保護者や生徒に対しては、保健師による個別説明や生活習慣の改善に関する保健指導を行っています。

教育長

身体測定で肥満と判定された子供への対応ですが、結果は保護者に通知し、治療やより精密な検査などを受けるよう指示しています。

正しい生活習慣の定着を目指した取組としては、主に栄養バランスの取れた食生活が元気の源になることを学年に応じた内容で栄養教諭が授業を進めているほか、早寝早起き朝ごはんなど基本的な生活習慣が大切であることを保健だよりを通じて家庭に促しています。

学校以外の取組としては運動習慣の定着に向け、地域での体育活動としてゆつくり由仁ウォーキングや健康ロードレースなどを開催しています。



佐藤議員

教育長

ふるさと由仁を愛し、共に未来を創造する、心豊かでたくましい子を育てていくためには、義務教育期間の9年間を通じて継続的で一貫性のある教育活動と生徒指導を学校、家庭、地域が協働して取り組むことが必要です。

小中一貫教育を一層進めるためには、小学校、中学校の区分をなくし義務教育期間を一体的に捉えた9年制の教育機関としての義務教育学校への移行が望ましいと考えています。

北海道では、施設一体型で従来の小学校または中学校の校舎の老朽化や統廃合に伴う建て替え、もしくは増築に伴い義務教育学校に移行する事例がほとんどです。

他府県では、非常に少ないですが、従来の小学校と中学校の校舎を活かした施設分離型の義務教育学校もあります。

9年制の望ましい教育機関としてどのような形の義務教育学校への移行が最適なのか検討していきたいと思っています。

小中一貫教育のさらなる推進について

Q 義務教育学校を設置する可能性について
A どのような形の義務教育学校への移行が由仁町にとって最適なのか検討したい

佐藤議員

義務教育学校は、小学校・中学校の区分がなく、9年制の学校として、各教科の時数や教育課程の柔軟化や小学校での教科担任制など様々なメリットがあると聞いています。本町で小中一貫教育をさらに進めるために、義務教育学校を設置する可能性について伺います。

再質問

Q 校舎の建設を待たずに義務教育学校に移行できるような準備はどうか
A 先行事例を含めて調査、検討したい

佐藤議員

由仁小学校は耐用年数に達していないため、長寿命化対応で経費を抑えて活用していくことは必要ですが、大幅な改築、もしくは建て替えるの時期が来ると思います。その際、スムーズに義務教育学校に移行できるように今から準備を進めることが重要だと思います。本町は一つの校舎が理想ですが、校舎が離れていても歩いて5分程度の距離だとすれば、校舎の建設を待たずに義務教育学校に移行できるよう準備を進めてはいかがでしょうか。

教育長

現在の小中学校はまだ耐用年数に達しておらず大規模な改修を行い、長寿命化を図ることで今後も充分活用可能と考えています。

義務教育学校は一つの校舎で職員室も一つ、小中の教員の区分なく垣根を越えたつながりを持つことが望ましい形だと考えていますが、他府県には数少ないですが、元の小学校校舎と中学校校舎を活用した施設分離型の義務教育学校が設置されています。

離れた校舎でどのような形態で運用されているのか、効果があるのか、今後義務教育学校に転換する上で調査する意義は充分あると思うので、先行事例を含めて調査、検討したいと思います。





野市議員

海外との交流について

Q 海外との交流について考えを伺う

A 国際交流や異文化交流の必要性は高まっていますが、得られる経済効果については疑問

野市議員

海外との交流は将来的に大きな活力になるものと思います。円安の今、海外との貿易を進めることができれば、由仁町の財政にもプラスの影響がでくると思いますし、今はインバウンドの時代なので、観光誘致にも力を入れていくことも重要だと思っています。また、海外との深い交流ができれば、万が一の災害があつた時にも物資の供給などの危機管理対策にもなると思うことから、海外との交流について町長の考えを伺います。

町長

これまでの町内における海外との交流の主な取組として、経済活動は過去10年間において、町内企業がロシアや中国への輸出の試みがありました。が、いづれも検疫や関税、出荷数量などの高い障壁によって実現には至っていません。このほか、カナダのバンクーバー市に永住しています。当町出身者との異文化交流や、人材育成の取組として由仁町国際交流協会による留学生の受入れ、町の事業として中学生をオーストラリアに派遣するゆめつく21ジュニア海外派遣事業などを過去に行つてきました。

グローバル化が加速し、国境を越える人、物、金、情報の移動が一層激しくなっている現在、ますます他国との関係性や国際交流、あるいは異文化交流などの必要性は高まっています。

しかし、国際交流によって得られる経済効果については、いささか疑問であると言わざるを得ません。国際交流は一朝一夕のものではなく、高い水準のコミュニケーション能力と相互理解、長い年月と歴史認識を必要とするからです。その中で効果があつたのか見極めてい

くしかないと思われます。

国際交流を続けていく中で民間の交流が次々と生まれ、企業対企業、個人対個人といったつながりの中で、それぞれの分野で吸収できる技術や地場産業の創出といったアイデアが生まれてくる可能性が秘められている。と言え、人と人との交流の中で新しい変革の意識を持った人材が出てくれば、それが地域の活性化、原動力につながるものと考えています。

再質問

Q 台湾との交流を進められないか

A 今のところ考えていない

野市議員

昨年、台湾へ行き現地の議員と会うことができ、現地では特に日本との交流は大切だという声がたくさんあり、機会があればぜひ交流を進めていきませんかというような言葉もありました。

民間として動くのが最初だと思いますが、文化、教育、スポ

ーツ、技術的な協力など、進めていくには自治体も動いていただけるのが良いと思います。

町長

農産物の輸出、姉妹都市、海外交流を含め現段階においては実施する考えはありません。

台湾の様々な情勢を踏まえると非常にリスクが高く、そこに私も由仁町が踏み込んでいく考えは今のところないということです。

非常に高度な問題であり、町民をリスクから守るためにも慎重に対応せざるを得ないということです。





東議員

水道事業について

Q 水道事業の展望について

伺う

A 令和9年度から管路更新事業を進めていく予定

東議員

近年全国的に水道管の老朽化進行による漏水や断水などのトラブルが問題視されており、由仁町では、法定耐用年数が40年を超える老朽管路が令和4年時点で約42キロ、20%と微増ではありますが年々増加傾向にあります。

それに伴い、町ではここ数年管路更新整備事業の調査、検討していますが、更新工事が進められていない現状で、毎年漏水などで莫大な修繕費がかかっています。耐震化が迫られる中、資材高騰や工事費の上昇、また人口減少な

どで給水収益の減少などによる経営の圧迫が懸念されることから、これからの水道事業の展望について伺います。

町長

町民生活に直結した重要なライフラインの上水道は、安全で安心な水道水を安定的に供給し続けることが極めて重要です。これが水道事業の使命でもあります。

また、元日の能登半島地震では、水道管の破裂で多くの断水事故が発生し、耐震化の遅れが被害拡大につながったと指摘されています。

当町の管路施設については、令和5年度末で法定耐用年数の40年を経過した老朽管は約20%であり、20年以上経過している経年管まで含めると約67%という状況で、管路整備は重要な課題です。

しかしながら、管路整備を着実に推進するためには多額の更新費用が必要となることから、財源確保のため国に積極的に財政支援の要望を行ってきました。

今年に入り、ようやく当町の水道は地方公営企業法の適用事業でありながら、過疎対策事業債の適用を

受けられることになり、懸念されていた財源もある一定のめどがつきました。

また、本年4月に水道整備、管理行政がこれまでの厚生労働省から国土交通省へ移管されたため、財政支援制度を最大限に活用できるような制度改正などの動向を注視したいと考えています。

こうした必要性から平成29年3月に策定した水道施設更新・耐震化計画に基づいて安全で強靱な災害に強い持続可能な水道施設を目指して令和4年度から2か年で基本設計を行い、令和8年度に実施設計、令和9年度から管路更新事業を進めていく予定です。

将来にわたり安定した経営を行うため、今後もコスト削減など経営努力を行い、安心して次の世代に継承できるよう持続的な経営に努めていきたいと考えています。

再質問

Q 今後水道料金の値上げなども考えられるか

A 断言できない

東議員

現在のインフレ傾向が続けば更新工事はおろか受水費用そのものの高騰が予想され、財源確保も難しくなると想定されます。そのことで今後水道料金などの値上げなども考えられるか伺います。

町長

当町の水道料金は、令和2年4月に料金改定を行い、全国的に見ても水準は高くなっています。

適切な水道料金の見直しは必要ですが、現在の料金が既に高いことも踏まえ、慎重に検討していきたいと思っています。

上げないとも上げるとも断言できない状況にあります。





中村議員

農作物の鳥獣被害に 関わる現状と今後の 対策について

Q 増加する鳥獣被害に対してどのように対策しているのか
A 地域全体の問題、地域で守る意識を持ち、協力して取り組む必要がある

中村議員

近年由仁町では農作物の鳥獣被害が非常に増えており、鹿やアライグマ、キジバトと農業者は苦労しながら営農しています。場所によってはかなり深刻な状況にあります。これらのことを踏まえて次の3点について伺います。

1 点目、毎年行う農作物鳥獣被害報告調査の結果は、どのように農業者に結果報告と反映をしているのか。

か。

2 点目、猟友会とはどのように現状や要望、課題などを話し合い対策しているのか。

3 点目、農業団体の意見や課題はどのように反映し、対策に应运じているのか。

産業振興課長

1 点目、調査結果は、1市4町、農協、猟友会などで構成する南空知広域有害鳥獣被害防止対策協議会並びに北海道に報告し、被害防止計画に反映し必要な対策予算の要望などに反映しています。

2 点目、猟友会とは年2回、捕獲駆除対策の会議、SNSで情報共有を図っています。また、毎年エゾシカの生息調査の調査地区の追加などについて猟友会と協議を重ね、必要な対策を反映しています。

3 点目、各農業団体の事務局レベルの会議で情報共有、課題把握に努め、必要な対策は南空知協議会を通じて北海道に必要な予算を要望しています。

町長

由仁町及び南空知協議会で狩猟免許取得者の育成、確保、農作物の

被害調査、エゾシカの生息調査及び一斉捕獲と対策してきました。鳥獣被害防止対策は様々な施策に取り組む必要があり、新たなハンターの確保にも積極的に取り組んでいきます。

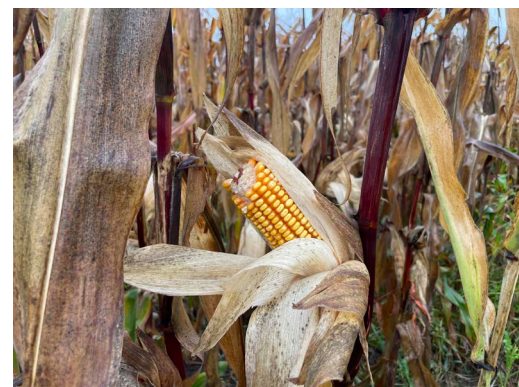
鳥獣被害防止対策は役割分担を明確にして進める事が重要であり、農地を自分で守るという意識を持っていたら、地域全体で協力して取り組む必要があると考えています。

再質問

Q 鳥獣対策勉強会や、ICTを活用したセミナーなどにも取り組むべきではないか
A 色々な事例を含めて検討したい

中村議員

このままでは5年後、10年後、手遅れになるのではないかと心配しています。個々で守ることも大事ですが、自分の農地を電牧柵で囲うと隣の家の農地に被害、影響が出たりと、地域全体で対策が必要だと農業者から聞いています。また、猟友会では平場では撃てないなど思うようにいかないところです。



農業者の知恵も必要であり、ドローンを活用し猟友会と囲い駆除のような対策など、ICTを活用し人と機械の目の両方で組み合わせた新たな駆除を考えるべきだと思います。

また各農業大学の生徒の知恵を借りた町独自の鳥獣対策勉強会や、ICTを活用したセミナーなどにも取り組むべきではないでしょうか。

町長

早速、色々な事例を含めて検討をしたいと思っています。

最近では鹿を撃ちたいハンターを旅行会社と協働で狩猟ツアーを企画している町もあるようです。そんなことも含めて町独自の取組を検討したいと考えています。



浮田議員

地方自治体の有りよう

Q 近い将来の地方自治体の有りよう、由仁町の将来像の展望を伺う

A 行政サービスの質を上げ、小さくても単独で町を存続していく

浮田議員

平成20年の日本の人口1億3,000万人をピークに地方自治体は人口減、それに伴う財政難のため地方行政維持に四苦八苦しています。人口が急増する要素はなく、国策で人口、経済対策をしなければ地方自治体は苦境に追い込まれます。

また、この先、令和の大合併劇が起きる可能性が大で、国は着々と準備している状況ですが、人口減や財政難を根拠とする地方自治体の合併は認めるわけにはいきません。

由仁町における近い将来の人口の予測、財源の予測、行政サービスの予測、教育体制の予測などを勘案してキラリと輝く町の姿をどのように考えているのか伺います。

町長

今後、日本の人口はさらに減少、高齢化は進行し、少子化も併せた人口構造の変化により、基礎自治体による行政サービスの提供に大きな影響を及ぼすとされています。

自主的な市町村合併は行財政基盤を中期的に維持していくための一つの手法ではありますが、私としては、この先、新しい市町村合併の機運が高まったとしても合併には納得できません。合併には効率的な行政運営というメリットもありますが、由仁という地域で考えると生産力、購買力の低下による商工業者、企業などの縮小、廃業などが進むことや、地域社会の存続も危うくなるなど、あらゆる部分で活力が失われるなどといったデメリットの方が大きいと考えています。

当町が抱える行政課題は依然山積しており、将来の予測は非常に難しい状況ですが、小さくてもしっかりとした自治体として担うべ

き役割を踏まえ、町が単独で実施しなければならぬもの、事務の共同化、一部事務組合などの連携や国や道の諸制度など、多様な手法の中から最も適したものを見極めながら、町民のニーズにしっかりと対応する行政運営に取り組みでいきたいと考えています。

再質問

Q 行政サービスの維持には財源の捻出が必要だが

A 町民に必要なものだけを残す、造る政策を進める必要がある

浮田議員

国は地方自治法を改正し、国に指示権を与え、国主導の強制的な大合併が令和の時代に始まると私は考えています。

由仁町を残すために必要な財源の捻出についてはどのように考えていますか。

町長

これまで基幹産業である農業の生産基盤に対する投資を続けてきましたし、世界的規模の食料問題

などの情勢を踏まえると、農業が発展し、伸びていくという期待を私は持っています。急増はなくても、税収は少なからず伸びていくと考えています。

また効率的な財政運営をするために、使わない施設を閉鎖や取壊し、新たな使い道の検討を進め町民にとって必要なものだけを残す、必要なものだけを造る政策を進める必要があると考えています。

今政治の流れを見てみると違った手法で市町村を縛ってきていると思わざるを得ないような法改正が進められていることも感じているところですが、少なくとも私が先頭に立っている間は合併することとは考えていません。

浮田議員

我々も国に対して政党を通じて打開してほしいということは言っていますが、今回の国の指示に対する態度は、町長の考えとは大分ギャップがあるように私は感じます。北海道のそれぞれの町民を守るのであれば、町村会の皆さんが国に対して何かモーションを起こさないと、いつまでたっても改善しないと思います。

令和5年度各会計決算を認定

第3回定例会で付議された各会計歳入歳出決算、水道事業会計決算は、決算審査特別委員会付託となり、9月12日・13日に特別委員会を開催しました。

審議の結果「認定すべきもの」と決定し本会議で報告、本会議での採決の結果「認定」となりました。



決算審査特別委員会の様子

(単位：円)

会 計 名			歳入総額	歳出総額
一 般 会 計			5,697,349,470	5,576,071,198
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 会 計		860,498,265	850,842,014
	農 業 集 落 排 水 会 計		247,687,363	241,443,841
	介 護 保 険 会 計		756,433,335	694,453,606
	後 期 高 齢 者 医 療 会 計		103,875,237	103,692,897
	診 療 所 会 計		573,414,121	495,700,271
	介 護 老 人 保 健 施 設 会 計		118,330,227	118,121,479
企 業 会 計	水道事業会計	収益的収支	510,971,222	503,263,873
		資本的収支	131,919,082	270,103,638

議会を傍聴しませんか？

定例会は年4回、臨時会は必要に応じて開かれます。事前の申し込みは不要です。

直接、議場にお越しください。

次回の定例会は12月に開かれる予定です



行政報告（町長）

主な農作物の生育状況について

水稻については、おおむね天候に恵まれたことにより生育は順調に進みました。

農林水産省が公表した作況は、北海道で「やや良」と発表され、由仁町米麦改良協会が8月20日に行った調査では、稔実粒数（ねんじつもみすう）は、平年を5%上回る1平方メートル当たり30,036粒となっています。

畑作物については、干ばつ等の影響で、作物によって差はありますが、生育はおおむね順調に進んでいます。



主な工事の進捗状況について

公用車車庫建設工事は、7月22日に着工し、現在、基礎工事の実施中で本年12月20日に完成の予定となっています。

職員住宅1号棟2階外壁修繕工事は、7月17日に完成しました。

健康元気づくり館冷暖房設備工事は、7月23日に完成しました。

由仁町立小中学校冷暖房工事は、冷暖房設置工事が完了し、小中学校ともに夏季休業明け8月23日から冷房設備を使用しています。

健康元気づくり館・自由通路照明器具LED化工事は、7月19日に着工し、現在、工事の準備中で本年12月20日に完成の予定となっています。

社会教育施設の照明器具LED化工事は、7月19日に着工し、現在、工事の準備中で「勤労福祉センター」は本年9月30日、「ゆめっく館」は本年10月31日、「文化交流館」は本年12月20日に完成予定となっています。

古山第2墓地線道路改築工事は、本年8月7日に着工し、現在、工事の準備中で本年12月20日に完成の予定となっています。



教育行政報告（教育長）

令和6年度全国学力・学習状況調査について

4月18日に、全国全ての小学校6年生と中学校3年生を対象として一斉に実施され、調査結果が公表されました。

当町の調査結果は、小学校については、国語が10.3ポイント、算数は9.6ポイントと全国平均を上回る結果となりました。

中学校については、国語が11.1ポイント、数学は7.5ポイントと全国平均を下回っています。

今後、学校からの分析結果を基に、学力向上に向け実効性の高い取組みを進めますが、今年度から中学校では放課後学習も実施していることから、併せて改善策を講じていきます。

教育関係行事について

7月14日、由仁中学校グラウンドを会場に「第34回全町自治区対抗ソフトボール大会」を行いました。

昨年より1チーム少ない全8チーム、総勢137名の選手が出場したところです。

また、今年度は7月26日から3日間の日程で「第52回北海道中学校ソフトボール大会」が同じく由仁中学校グラウンドを会場に開催され、多くの保護者や大会関係者が来町し選手に声援を送っていました。



ようこそ由仁町に碧南市議会行政視察

7月30日愛知県碧南市議会の議員6名が来庁し、由仁町のスマート農業について研修を行いました。

役場の担当職員が説明をした後、お互いに情報交換を行いました。

その後、三川の株式会社チュプチニカへ移動して、ドローン等スマート農業に使う機械を見学しました。



議会のうごき

7月

- 16日 北海道議会議員白川祥二「納涼の集い」
(岩見沢市 議長)
- 17日 由仁町議会議員OB会総会
(登別市 議長)
- 22日 全員協議会 (委員会室 議員)
- 22日 由仁町暴力追放運動推進協議会
(大会議室 議長)
- 23日 南空知消防組合議会第3回臨時会
(栗山町 組合議員)
- 28日 北恵庭駐屯地創立74周年記念行事
(恵庭市 議員)
- 30日 碧南市議会行政視察 (大会議室 議長)

8月

- 3日 碧南市親善訪問団来町歓迎会
(ゆにガーデン 議長)
- 4日 由仁町夏まつり開祭式 (げんき館前 議長)
- 5日～7日 空知町村議会議長会中央要望実行
運動 (東京都 議長)
- 8日 由仁町少年少女野球教室 (由仁中学校 議長)
- 20日 由仁町戦没者追悼式 (げんき館 議長)
- 20日 北海道町村議会議長会主催議会広報
研修会 (札幌市 委員)
- 22日 道央廃棄物処理組合焼却施設完成祝賀会
(千歳市 議長)
- 22日 三役会議 (正副議長室 議会三役)

- 26日 いなつ久国政報告会 (滝川市 議長)
- 27日 石狩東部広域水道企業団議会第2回
定例会 (恵庭市 議長)
- 31日 鈴木直道と共に歩む北海道ミーティング
(札幌市 議長)

9月

- 2日 総務産業常任委員会 (委員会室 委員)
- 6日 三役会議 (正副議長室 議会三役)
- 6日 議会運営委員会 (委員会室 委員)
- 6日 全員協議会 (委員会室 議員)
- 10日～18日 由仁町議会第3回定例会
(議場 議員)
- 10日 議会運営委員会 (委員会室 委員)
- 12日～13日 決算審査特別委員会
(大会議室 委員)
- 14日 由仁町福祉のつどい (ふれーる 議長)
- 18日 全員協議会 (委員会室 議員)
- 18日 議会広報特別委員会 (委員会室 委員)
- 21日 由仁神社秋季例大祭 (由仁神社 議長)
- 21日 古川地神祭 (古川神社 議長)
- 23日 三川神社秋季例大祭 (三川神社 議長)
- 30日 稲津久 岩見沢事務所開き及び後援会・応
援団役員決起大会 (岩見沢市 議長)

10月

- 2日 総務産業常任委員会所管事務調査
(委員会室 委員)
- 2日 議会広報特別委員会 (委員会室 委員)

編集後記

日増しに寒くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

9月の定例会も無事終了し、今回は6名の議員から一般質問が行われ、様々な質問が出ましたが、その一つ一つが地域の為の議論でした。

新たに議会改革推進特別委員会を立ち上げ、より良い議会活性化を推進し、議員が一丸となって議論を交わします。

皆様からのご意見、ご感想は私達の励みになりますので、是非お気軽にお寄せください。

これからは追々寒くなっていきますが、体調を崩さないよう充分注意してお互い頑張って乗り切りましょう。

委員長 佐藤 英司

議会へ町民の皆様の声を届けてください

「住みよいまちづくりのため」に、ご意見、ご要望をお待ちしています。

連絡先

TEL 0123-83-2111 FAX 0123-83-3020
e-mail gikaijimu@town.yuni.lg.jp

※匿名分は除かせていただきます